

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年12月08日

計画の名称	飯田橋駅周辺基盤整備事業												
計画の期間	令和08年度～令和12年度(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	東京都												
計画の目標	<p>飯田橋駅は、鉄道5路線が乗り入れ、幹線道路3路線が交差するなど、都内有数の交通結節点である。</p> <p>現場は、歩行者動線や広場の整備が不十分であり、歩道橋や地下のコンコースの混雑が常態化してほか、バリアフリーにも課題がある。</p> <p>このような状況のなか、周辺地域では開発機運が高まっていることから、民間活力を活かし地方自治体と事業主体（独立行政法人都市再生機構）が連携することで、駅周辺の必要な基盤整備を行う。</p> <p>本計画では、駅を中心とした街とのネットワーク形成やゆとりある空間整備を進め、交通結節機能の更なる強化を目指すことを目標とする。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	22,680	A	22,680	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	飯田橋駅周辺では、周辺開発に伴う施設利用者の増加が見込まれることから、歩行者デッキ整備やJR飯田橋駅高架下歩行者空間の拡幅整備を行い、歩行者サービス水準の向上に努める。 歩行者動線のサービス水準Aを確保する $1 \text{ 分当たりの交通量 (人/分)} \div \text{有効幅員 (m)} \leq 27 \text{ 人/m} \cdot \text{分}$ 【サービス水準A（27人/m・分以下）】 当初現況値は現況幅員、最終目標値は将来幅員	55人/m・s	人/m・s	27人/m・s

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
※当初現況値は、周辺開発竣工時に都市基盤が整備されていない際の歩行者流動（サービス水準C） 最終目標値は、周辺開発竣工時に都市基盤が整備されている際の歩行者流動												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R08	R09	R10	R11	R12				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	東京都	間接	独立行政法人都市再生機構	—	—	都市・地域交通戦略推進事業	歩行者デッキ第一区間（JR飯田橋駅～文京区間）の整備、JR飯田橋駅高架下の歩行者空間拡幅整備	千代田区、新宿区、文京区	■	■	■	■	■	22,680	1.295	未策定	
											小計						22,680			
											合計						22,680			

